

## 関西支部第25回夏季大学報告

関西支部第25回夏季大学を、2003年7月22日（火）と23日（水）の2日間、神戸大学瀧川記念会館において、大阪管区气象台及び日本気象協会の後援で開催しました。

今回は「雨」をテーマとし、二宮洸三氏（地球フロンティア研究システム）「低気圧と梅雨前線の降雨」、沖 理子氏（宇宙開発事業団）「衛星による降水観測」、寶 馨氏（京都大学防災研究所）「豪雨と洪水」、中山繁樹氏（大阪管区气象台）「雨の予報 ー天気図の検討実習ー」の4講義を実施しました。なお沖 理子氏は急な所用のため出張できなくなり、代理として清水収司氏（宇宙開発事業団）が講義をされました。

日常生活や防災面で関係の深い「雨」をテーマとしたことや、新しい試みとして中山繁樹氏の講義に天気図の検討実習を加えたこともあったためか、高校生から70歳代までの幅広い年齢層の92名（1日目87名、

2日目81名）が参加され、近年になく盛況な夏季大学となりました。

講義は、各講師の方が専門分野について、さまざまな面から最新の話題や豊富な画像もまじえて、わかりやすく話していただき、質疑応答も活発に行われました。天気図の検討実習の際は、助手役のスタッフが受講者の間をまわりながら質問等に応じました。ただ最後のほうは時間が足りなくなり、残念ながら十分な説明が出来ない場面もありました。講義全体としては、内容的に概ね適当と感じられた方が多かったようです。

最後に、多大な協力をいただいた後援の機関、講演いただいた講師の方々、会場設営からこまごまとした雑用まで献身的な支援をいただいた神戸大学の関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。